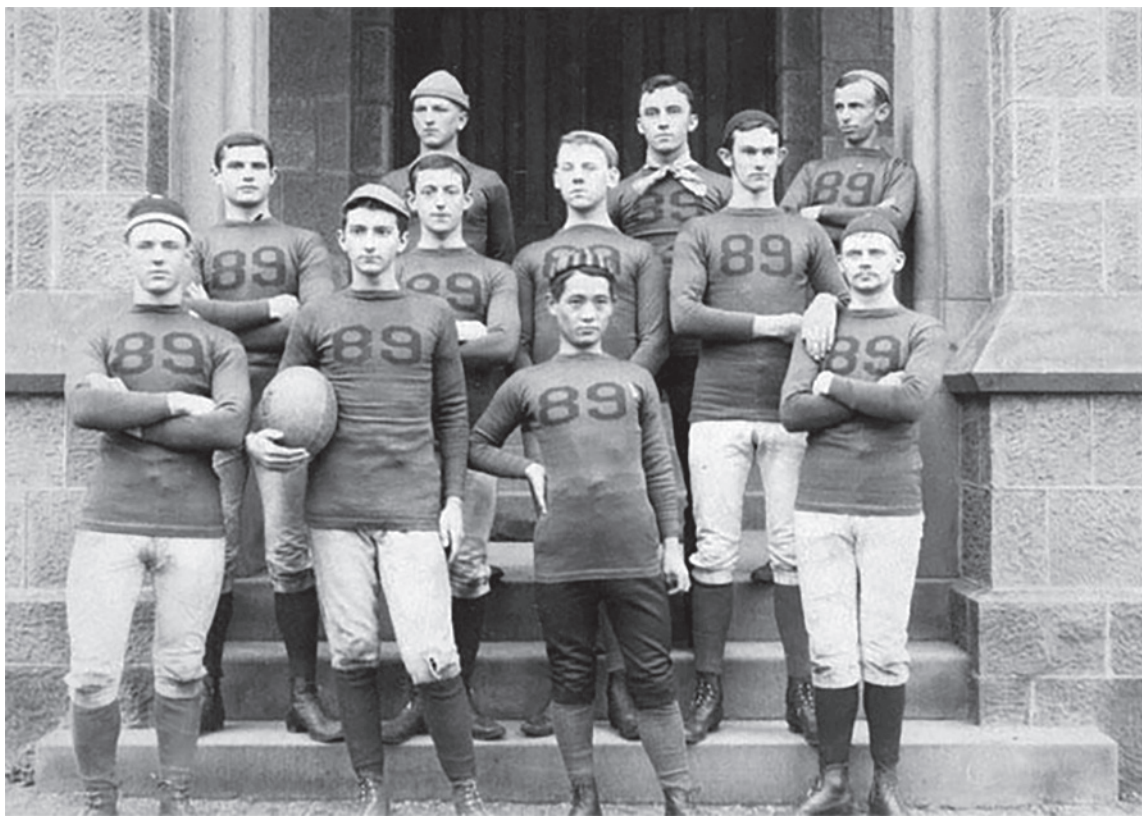


# 海を渡った日本人



見つけた1枚の写真

## 松方幸次郎の青春

1988年にラトガース大は松方幸次郎就学100年記念行事を行ったが、その年の春に大学図書館資料室から当時の松方の学生時代の生活ぶりを偲ばせる一枚の写真が見つかった。フットボールチームの一員として1889年卒業組のユニフォームに納まつた弱冠20歳の幸次郎青年。その瞳には、日本の近代化と共に歩み出す彼の志がしっかりと刻み込まれているように見える。今から150年以上も前

楽しい  
週刊NY生活  
デジタル版  
www.nyseikatsu.com

になぜ、この大学にこぞつて日本人留学生が集中したのか。その問いに答える学術的研究はなされていらないが、明治以前から長崎にいたからという推測ができる。1853年のペリー提督の来港以来、幕府の日本人海外渡航禁止令は有名無実となり、大志を抱いた若者が続々と西欧文化の取得に海を渡った。幕府自身も1862年ごろからオランダ、イギリス、フランス、ロシアに留学生を送り出している。新島義は1864年に函館から単身渡米し、マサチューセッツ州アムハースト大に入学、その前年には長州藩が伊藤博文、井上馨らをイギリスに送り出

た。米国人宣教師で、英語教師もしていたオランダ修正派教会から派遣されていたフルベッキの手引きがあつた。松方幸次郎の部活は1889年卒業組のフットボール・ユニフォームに身を包んだ弱冠20歳の松方幸次郎(前列右から2人目)。子供の頃、木から落ちて足が不自由だった松方が入学したのフットボール部。生きた英語を学ぶにはフットボールが一番と考えたのかもしれません。と写真を見つけた図書館のミッチェさんは話す。(大図書館所蔵写真)

ラトガース大学は、オランダ修正教会を母体とする学校を前身として1866年に創立された州立大学。ストレプトマイシンを発見したS・A・ワックスマンを輩出するなど、化学、農学、科学技術分野に突出した業績を持つニュージャージー州最大の総合大学だ。この大学がある町、ニューブランズウィックに近代日本の黎明(れいめい)期にあたる慶応3年から明治30年までの30年あまりの間、300人近くの日本人留学生が学んだことを知る者は多くない。当時この大学に学んだ日本人留学生の多くは、幕末の壮士、政治家、知識人とその子息たちで、帰国後、科学技術、政治、教育、ビジネスの分野で日本の近代化に大きな足跡を残している。また、同時期にラトガース大学卒業生で日本へ行った「お雇い外国人」教師や宣教師も60人を超える。日本人留学生を相次いで受け入れた最初の米大学。ラトガースの創設期をつづる歴史の1ページを開くと、そこに日米関係の原点が鮮明によみがえる。

慶応3年(1867年)にラトガース大学に入学した日本人最初の官費留学生、日下部太郎Ⅱ写真右のパスポート番号は第4号。日本からの正式な海外渡航者の4人目、当時の奨学金として年間600ドルが支給された。当時の同大学の年間学費は45ドルから60ドルだった。越前福井藩士の日下部は、同大を3年間でしかも首席で終えたが、卒業の1か月前に結核のため、この地で死んだ。享年26歳の若さだった。しかし成績が優秀だったため、正式に卒業が認められ、米国最高の学称ファイ・ベータ・カッパの称号と金のカギを受けている。大学キャンパスから学生街を抜けた一角の共同墓地、ウィロー墓地の片隅に、日下部日本人留学生の墓がある。並ぶ7本の墓石に、長谷川鍛冶(23)、小幡茶三郎(29)、阪谷達郎、川崎新二郎(21)、入江音次郎、松方蘇介(22)の名がいくつもかすかに読み取れる。松方蘇介は、後の1884年に渡米して同大に学び、帰国後初代川崎造船社長となる松方幸次郎の実兄でもある。同大図書館に保存されている1958年11月11日の地元紙、ザ・デイリー・ホーム・ニューズが「明治初期の日本人留学生の墓が

## 日下部太郎永眠す



23年間も倒れたまま、荒地に放置されている」と報じるまで、在米邦人はこの墓の存在を知らなかった。この記事を読んだニューヨーク日系人会(JAA)の代表が、当時のポール市長にかけあい、修復工事を依頼。市長は、ヘルスケア大手のジョンソン・スミス社のジョージ・スミス社長に修復のための工事費200ドルを懇願。墓石修復を行ったという。しかし1977年にこれらの墓石が再び倒壊した。日下部の故郷、福井市の市長が来米して修復、現在に至っている。

日下部太郎と共に眠る日本人留学生たち(大学キャンパス近くの共同墓地で)..... 小嶋もここに学び、その小鹿の従者として渡米した富田鉄之助と高木三郎もともに同大に在籍。明治5年にできたニューヨーク領事館の副領事と領事を務めていた。富田は留学生のまま副領事を4年間務め、帰国後、明治21年から1年間、二代目の日銀総裁に就いている。高木は、初代のニューヨーク総領事となり、離官後ニューヨークにそのまま留まる。製糸の輸入業者を営み、日米貿易の先駆者として活躍した。日下部太郎らの墓と共に「1877年没、タカギ・サブローウ・スマ夫妻の幼女」と記された小さな墓は、こ

## 帰国後、日本の礎に NJ州ラトガース大学



の高木の亡くなった幼女の墓で、外地で娘を一人にせず、せめてともに志を同じくした同胞とともに眠らせようと、高木三郎夫妻がこの地に埋葬したのだと大学関係者が説明してくれた。

## 次期大統領にバイデン氏

大統領を正式に選出するための各州の選挙人による投票が14日に行われ、バイデン前副大統領が306票、トランプ大統領が232票を獲得、過半数270以上を得たバイデン氏が次期大統領に選出された。全50州と首都ワシントンDCは12月9日までに、11月の大統領選挙の結果を公式に認定し538人の選挙人を指名した。激戦となったペンシルベニア、ミシガン、ウィスコンシン、ジョージア各州の選挙人も順当にバイデン氏に投票した。

ND Cは12月9日までに、11月の大統領選挙の結果を公式に認定し538人の選挙人を指名した。激戦となったペンシルベニア、ミシガン、ウィスコンシン、ジョージア各州の選挙人も順当にバイデン氏に投票した。



OISHINBO

JAPANESE GOURMET GROCERY

食材の全米配送 寿司、食事メニューの宅配サービス

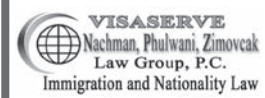
電話 914-835-4390 Eメール oishinbotakada@yahoo.co.jp

GRUBHUBで Oishinbo と検索して注文して下さい。

283 Halstead Ave. Harrison

(配達時に「週刊NY生活」も一緒にお届けします)

## New Jersey州で移民法のことなら NPZ弁護士事務所



弁護士 デヴィット ナックマン David H. Nachman, Esq.

グリーンカードや就労ビザ、その他  
さまざまなビザサポートを行っています。

(代表): 201-670-0006 / info@visaserve.com

日本人スタッフが適切に  
対応致しますので  
安心してご相談下さい。

Mina (日本人スタッフ):  
201-670-0006(ext.112)/  
mina\_kosuge@visaserve.com

ニュージャージーオフィス(2拠点) ニューヨークオフィス  
VISASERVE Plaza 907 Route 202 North 108 W 39th Street  
487 Goffle Road Raritan, NJ 08869 8th Floor, Suite 800  
Ridgewood, NJ 07450 New York, NY 10018

ニュースレターご希望の方は、TEXTで22828へ「NPZLAWGROUP」と送信してください。

website: www.visaserve.com



## マイケル・ダン法律事務所

コネチカット大学ロースクール(J.D.) / 東京大学大学院(法学修士号) 米国移民法弁護士協会会員

移民法専門

日米で20年以上の経験

E・H・I・L・O等各種ビザ  
グリーンカード、市民権など

Tel: 646-546-5342 (日本語直通)

E-mail: nihongo@michaeldunnlaw.com

450 Lexington Ave., WeWork 4F, New York, NY 10017 • www.michaeldunnlaw.com



RBL PARTNERS

全米から相談受付中 (212) 960-3593

バイリンガル弁護士が直接日本語で相談を承ります。

■移民法 (各種ビザ、グリーンカード、市民権、再入国許可証)

■ビジネス全般 (会社設立、各種契約、一般企業法務)

RBL Partners, PLLC

225 Broadway, Suite 3005

New York, NY 10007

Email: info@rbllpartners.com

ボアス 麗奈 NY州弁護士  
米国移民法弁護士協会会員

Website: http://rbllpartners.com/